

企画提案書作成要領

別添「令和6年度DXスクール（社内人材リスキリング研修）実施委託業務 仕様書」を踏まえ、企画提案書を作成、提出してください。

1 提出資料

① 以下の内容を含んだ提案資料（様式任意）

- ・業務管理体制
- ・講座全体に係る実施計画（開催スケジュール等）
- ・講座のカリキュラム（学習内容、学習時間、教材）等の具体的な実施内容
- ・各受講者のレベルの把握方法とカリキュラムへの反映方法
- ・教育内容の理解度を図るための指標
- ・受講生の到達イメージ
- ・専属の講師による技術的指導や学習計画の内容
- ・実践講義を担当する講師の経歴
- ・受講に必要な環境（OS、バージョン）等の具体的な制約条件
- ・学習方法に係る各種相談対応、モチベーションの管理等に係るサポートの内容および実施する時間（開講時間）
- ・受講生に対する受講状況の確認等のフォローアップの実施方法
- ・受講料の金額設定の根拠
- ・類似事業における実績

② 見積書

- ・業務ごとに算定した詳細な根拠を記載すること。
- ・研修実施にあたっての共通経費と、受講生1人当たりの個別経費を記載すること。

※提案資料の内容について、数値化できるものは数値化して記載すること

2 費用は、21,800,000円（消費税及び地方消費税額を含まない）を上限とする

3 その他特筆すべき事項があれば、資料を添付すること

4 その他

委託業者の選定にあたっては、以下の項目を評価します

（1）事業趣旨の理解

事業の趣旨を理解し、それに基づく適切な提案となっているか

（2）過去の実績

企業としての実績は十分か

同様の業務を過去に行った実績があり提案に活かされているか

（3）事業運営体制

業務の管理体制は事業を円滑に進めるために十分か

事業計画は業務を完遂するために現実的なものとなっているか

（4）学習プログラム

講座のカリキュラムおよびプログラムの構成は仕様書上の要件を満たし、実用性があるか

各受講者の現状レベルを測定する仕組みがあり、測定が正確かつ多角的なものか

測定したレベルに応じて個別最適なカリキュラムが提供できる仕組みとなっているか
受講修了の基準設定が事業目的に対して適切か
実践講義を担当する講師の能力および実績は十分か

(5) 講座実施にあたっての工夫

講座の学習環境は仕様書上の要件を満たし一般的な機器でも受講可能なものとなっているか

受講者の学習状況管理、講座受講中の疑問点解消など脱落者がでないサポート体制があるか

受講者の知識定着、モチベーション維持ができる仕組みがあるか

初学者でも習得できる工夫があるか

(6) 提示額

提示する上限額を下回っているか

全体の予算額について費用対効果が優れているか